

第1号議案 平成23・24年度事業報告について

平成23・24年度事業報告（案）

1 発足記念大会の開催

ふくい若者チャレンジクラブの設立を宣言するとともに、記念講演会、パネルディスカッション、交流会を開催した。

ア 日 時 23年12月18日（日）

イ 場 所 福井県国際交流会館

ウ 参加人数 約250名が参加

エ 内 容

- ・設立宣言 35名の若者が発起人となり、設立を宣言（当日出席15名）
- ・記念講演会『21歳女子大生、NPOで起業！NPOカタリバ10年間の挑戦』
講 師 特定非営利活動法人NPOカタリバ 代表理事 今村久美さん
- ・パネルディスカッション『ふるさと福井で活躍する若者像を考える』
パネリスト NPOカタリバ代表理事 今村久美さん、JICA北陸 木水薫代さん
加斗ク LOVE 代表 木村武史さん、あぜみち事務局長 市橋司さん
コーディネータ FM福井アナウンサー 飴田彩子さん
- ・交流会 発起人や当日参加者のうち希望者が自らの活動を1分間アピール（計9名）

2 講演会と交流会の開催

若き成功者の体験談や若者の活動・行動への指針を聴く講演会を開催するとともに、活動している若者同士やこれから活動を始める若者との交流会を開催した。

（1）山口絵理子氏講演会と交流会

ア 日 時 24年12月1日（土）

イ 場 所 福井県産業情報センター

ウ 参加人数 約150名が参加

エ 内 容

- ・講演会『裸でも生きる～それでも私は歩き続ける～』
講師 ㈱マザーハウス代表兼デザイナー 山口絵理子さん
- ・交流会 山口絵理子さんとの意見交換のほか、ふくい若者チャレンジクラブの活動紹介
参加した若者同士の意見交換

（2）瀧本哲史氏講演会と交流会

ア 日 時 25年3月10日（日）

イ 場 所 福井県生活学習館

ウ 参加人数 約170名が参加

エ 内 容

- ・講演会『僕は君たちに武器を配りたい』
講師 京都大学客員准教授 瀧本哲史さん
- ・交流会 ふくい若者チャレンジクラブの活動紹介、参加した若者同士の意見交換

（3）若者交流会の開催

ふくい夢チャレンジプランプレゼン大会の際に、交流会を開催

ア 日 時 24年5月27日（日）

イ 場 所 福井県国際交流会館

ウ 参加人数 約100名が参加

エ 内 容 ふくい夢チャレンジプランプレゼン大会の参加者などの参加者同士の意見交換

3 勉強会の開催

活動を進める上で必要となるスキルの習得、地域を取り巻く課題や食などの地域資源などについての意見交換など、様々な分野について、クラブ役員が中心となり、勉強会を開催した。

(1) 24年実施の勉強会

1月17日(金)	フェイスブック講習会	若狭町 パレア若狭	19名参加
2月23日(木)	フェイスブック講習会	県生活学習館	14名参加
3月8日(木)	フェイスブック講習会	大野市職業訓練センター	9名参加
3月17日(土)	フェイスブック講習会	鯖江市文化の館	11名参加
6月23日(土)	ワールドカフェ「地域活性」	鯖江市らてんぼ	21名参加
7月31日(火)	ワールドカフェ「まちづくり」	福井市アオッサ	28名参加
8月28日(火)	若手経営者との座談会「老舗料亭の挑戦」 講師：開花亭 開発毅さん	福井市アオッサ	24名参加
9月18日(火)	カラー心理学&顔学セミナー 講師：カラーコーディネーター 大嶋 歩さん	福井市アオッサ	35名参加
10月21日(日)	詩人きむさんと夢を考える 講師：いろは出版(株)代表 きむ(木村行伸)さん	福井市響のホール	9名参加
10月30日(火)	そば講座&そば打ち体験会 講師：越前美山地区のそば打ち名人 高倉 博雄さんほか	福井市アオッサ	20名参加
11月6日(火)	ふくい若者座談会「食」 講師：越の国有機農業生産者の会 平澤一広さん	ロハス越前	10名参加
11月20日(火)	ふくい若者座談会「健康」	さばえNPOセンター	7名参加
12月2日(日)	希望学プロジェクト代表 玄田有史東京大学教授と福井の若者との 交流会(県政策推進課との共催)	福井商工会議所ビル	7名参加
12月18日(火)	ふくい若者座談会「ゆく年くる年」 さばえNPOセンター		5名参加
12月19日(水)	ワールドカフェ「まちづくり」	大野まちなか交流センター	12名参加

(2) 25年実施の勉強会

1月31日(木)	伝える力をみがく講座 講師：書家 西山有紀さん	鯖江市文化の館	23名参加
2月16日(土)	楽しく美味しく世界を知ろう！	JR若狭高浜駅	14名参加
3月20日(水)	企画力・プレゼン力向上講座 講師：(株)ふくいコミュニケーションズ代表 澤崎敏文さん	福井県生活学習館	40名参加

4 「ふくいの応援隊」の活動

クラブメンバーが、地区の祭りや伝統行事の継承、親子の農業体験、過疎集落の活性化などを応援することにより、県民の方にふくいの食や農業・農村などの理解を促し、ふくいの活性化のための一助とした。

(1) 福井・坂井地区 担い手不足に悩む民俗芸能の応援

・「しじぐれ祭応援隊」の結成

- ・ 福井坂井地区クラブ役員4名で、福井市(旧美山町)上味見地区の県指定無形民俗文化財「しじぐれ祭」応援隊を結成(24年9月11日)

- ・ 地元の地区代表の方にじじぐれ祭の現況を伺うとともに、じじぐれ祭の勉強会を実施
- ・ 25年5月5日の祭本番に向け、じじぐれ祭をPRするリーフレットを作成配付し（2月）、応援隊員を募集

（2）奥越地区 ふくいの「食」と「農業・農村」への理解促進と応援

・「サツマイモ収穫体験とそのイモを材料にしたランチ会」の開催

クラブ役員と大野市の青年農業者が親子農業体験を共同企画し実施

日 時 24年9月30日（日）

場 所 大野市土打「うまかろうふあーむ圃場」、イタリア料理店「チポラ CIPOLLA」

参加人数 25名（福井県在住の親子・家族）

内 容 大野市のサツマイモ畑において、参加者全員で収穫体験をし、1時間かけて60キログラムを収穫した。その後、七間通りに移動し、朝市を見学した。ランチ会場では、地元のサツマイモなどの食材を使った、冷製スープ、サラダ、パスタなどのミニコース料理を楽しんだ。

（3）丹南地区 ふくいの「食」と「農業」の理解促進と応援

・「ふくい若手農家等ミーティング」の開催

丹南クラブ役員が企画。若手農家だけではなく、野菜販売会社代表、北陸農政局職員などが集まり、いまの農業の課題を議論

日 時 24年8月23日（木）

場 所 福井市研修センター

参加人数 10名

内 容 農業・農家の「かっこイイ」ところと「かっこワルイ」ところについて、各参加者が意見を出し合い、農業・農家の課題を洗い出した。
今後も継続してミーティングを開催しながら仲間を増やし、若手農家の農産物を販売する「マルシェ」の開催を計画

（4）嶺南地区 ふくいの「食」と「農業・農村」への理解促進と応援

ア 白ネギ収穫・出荷作業体験&ネギ鍋交流会

役員と若狭町の青年農業者が農業体験を共同企画し実施

日 時 24年12月9日（日）

場 所 若狭町下野木「たごごろ農園」と「下野木ふれあい会館」

参加人数 19名（福井県在住の若者、親子）

内 容 「たごごろ農園」代表から説明を受けたのち、農園の方の指導のもと、白ネギの収穫を体験した。その後、ネギの皮むき、太さや重さに沿った分別、テープ貼り、箱詰めといった一連の出荷調整作業を行った。

続いて、下野木ふれあい会館にて、参加者が共同でネギ鍋を作り、交流会を開催した。

イ 都市と田舎の若者による「まちむら交流会」の開催

東京・京都在住の若者を超過疎集落に案内し、共同生活を経験し、交流

日 時 24年9月16日（日）

場 所 小浜市上根来集落

参加人数 15名

内 容 福井の若者と東京・京都の若者が地元区長等と集落を視察しながら集落の歴史と現状を学んだ後、地元産の米や野菜を材料にカレーを共同で料理した。都会の若者も集落の古民家に宿泊し、集落の今後の活用方法などを話し合いながら交流した。

5 県外交流（山形県の若者グループとの交流）

福井の若者が山形県に出向き、山形県の若者グループとそれぞれの活動の課題と対応について意見交換を行い、ネットワークを広げるとともに、先進まちづくり事例の視察を行った。

ア 日 時 24年8月4日（土）、5日（日）

イ 場 所 山形県南陽市、高島町、山形市

ウ 参加人数 福井の若者16名、山形の若者延べ45名

エ 内 容

（ア）事前研修

7月9日（月）、17日（火）、25日（水）の3日間、交流事業概要・日程等説明、山形県での野発表内容の打ち合わせ、花笠踊りの練習を実施

（イ）事業実施

8月3日（金）夜に福井県庁で結団式、ミーティングを実施したのちに出発、8月6日（月）早朝に福井市着、解散

〔訪問1日目〕 8月4日（土）（南陽市内）

- ①南陽市の若者と、一般向けの共同イベントを実施し、福井をPR
- ②南陽市の若者との意見交換を実施

〔訪問2日目〕 8月5日（日）（午前 高島町内、午後 山形市内）

- ①高島町昭和縁結び通り商店街の視察、まちづくりリーダーとの意見交換を実施
- ②山形県庁の若手職員5人との意見交換会
- ③吉村美栄子山形県知事を表敬訪問、花笠パレードに参加

6 情報交換・提供、広報

（1）ホームページ「ふくい若者チャレンジクラブ」を開設・運用

- ・ホームページ「ふくい若者チャレンジクラブ」を県のホームページ内に開設（23年11月）し、クラブ主催のイベントの告知および開催実績、メンバー募集などの情報を掲載

（2）フェイスブック「ふくい若者チャレンジクラブ」を開設・運用

- ・フェイスブック「ふくい若者チャレンジクラブ」を開設（23年11月）し、クラブ主催のイベントの告知および開催実績、クラブの事業を取り上げた記事など掲載
なお、嶺南地区のクラブメンバーでは、「ふくい若者チャレンジクラブ」のフェイスブックページに会議室を設置して、オンライン上での意見交換を継続的に実施

（3）「ふくい若者チャレンジクラブ」メールマガジンの発行

- ・クラブメンバーを対象に、原則として、月2回、メールマガジンを発行。25年2月27日に29号発行
- ・クラブのイベント情報、メンバーが主催するイベントの開催情報、参加者やスタッフ募集情報などを配信

（4）クラブのPR活動、会員勧誘活動

- ・「福井マラソン大会」において、5キロのコースをクラブメンバー6人が、ふくい若者チャレンジクラブの横断幕を持ってクラブをPR（24年10月7日）。福井新聞に掲載される（同月8日）
- ・自治研修所（県・市町職員の研修機関）での研修の機会において若者職員に説明
- ・各市町の成人式実行委員会において説明
- ・クラブ主催の講演会、交流会、勉強会等の参加者に対し、クラブ事業の説明と勧誘
- ・そのほか、大学ゼミ等での説明、各種イベント、会合での説明

(5) パブリシティ

ふくい若者チャレンジクラブの活動が、白書、県広報番組のほか、様々なメディアに取り上げられた。

- ・内閣府発行の「平成24年版子ども・若者白書」に、ふくい若者チャレンジクラブが紹介される（24年6月）。
- ・県の広報番組「おはようふくい730」に、ふくい若者チャレンジクラブの活動が紹介される。（24年10月28日（日）7:30～8:00 FBC。「若い力でふくいを元気に！」をテーマに、勉強会「カラー心理学&顔学セミナー」など紹介。スタジオには西尾会長、クラブメンバーの松浦麻衣福井大学EMP代表（当時）、天野準一片町青年会メンバー、中村峰子若者チャレンジクラブ事務局員が参加）
- ・福井新聞、県民福井などにクラブの活動が紹介される。
 - 「ふくい若者チャレンジクラブ」のメンバー登録募集
（23年12月13日福井新聞、16日県民福井、朝日新聞）
 - 「ふくい若者チャレンジクラブ発足記念大会」
（23年12月19日福井新聞、県民福井、中日新聞、朝日新聞、産経新聞）
 - 「山形の若者との交流」事前打合せ（24年7月21日福井新聞）
 - 「山形の若者との交流」
（24年8月 5日山形新聞、6日時事通信社 i JAMP、9日福井新聞、
11日県民福井・中日新聞）
 - 「若手経営者との座談会」（24年8月30日県民福井、31日福井新聞）
 - 「カラー心理学&顔学セミナー」（24年9月20日福井新聞）
 - 「いも収穫体験とランチ」の参加者募集（24年9月21日福井新聞、県民福井）
 - 「いも収穫体験とランチ」（24年10月1日県民福井、2日福井新聞）
 - 「山口絵理子氏講演会・交流会」の参加者募集（24年11月26日福井新聞）
 - 「白ネギの収穫体験と白ネギ鍋交流会」の参加者募集（24年12月5日福井新聞）
 - 「白ネギの収穫体験と白ネギ鍋交流会」
（24年12月 9日NHK福井放送、11日福井新聞）
 - 「ワールドカフェ@若チャレ奥越」の参加者募集
（24年12月18日福井新聞）
 - 「若者チャレンジクラブ 福井発の支援策広げたい」
（24年12月30日福井新聞サンデー論説）
 - 「ふくいチャレンジクラブ 発足1年若者続々 会員数300人突破」
（24年12月30日県民福井 一面）
 - 「じじぐれ祭応援隊」の隊員募集
（25年2月7日福井新聞、2月10日読売新聞、2月11日県民福井）
 - 「楽しく美味しく世界を知ろう！」
（25年2月17日中日新聞、2月18日県民福井）
 - 「瀧本哲史氏講演会・交流会」の参加者募集（25年2月22日福井新聞、3月4日
毎日新聞、月刊URALA3月号）
 - 「瀧本哲史氏講演会・交流会」（25年3月11日福井新聞、県民福井）
など